

基本構想（素案）からの主な変更点

1 総合計画の体系図（資料 1 P1-P2）

- (1) 基本目標「市民と行政が拓く 協働と連携のまち」の位置づけを変更
（他の5つの基本目標すべての実現においても共通するものとして位置づけを見直し）
- (2) 「都市像の核となる視点」及び「戦略テーマ」を削除
（「都市像」の部分に新たに追加した「都市像に掲げる“豊かさ”」として再編）

2 時代の潮流（資料 1 P5）

- (1) 「少子高齢化の進行と人口減少社会への移行」について、「・また、近年の景気低迷に加え、今後においても、人口減少等に伴う国内消費の縮小により、経済の大幅な伸びは見込みにくい状況にあります。」を追加
- (2) 記載順を見直し

3 本市の特性（資料 1 P6）

- (1) 記載順を見直し

4 将来推計（財政）（資料 1 P8）

- (1) 直近データにより推計

5 都市像等（資料 1 P9-P10）

- (1) 「都市像に掲げる“豊かさ”」を追加
（「都市像の核となる視点」及び「戦略テーマ」を再編し、都市像の「人」、「まち」、「みどり」ごとに、それぞれ「心の豊かさ」、「都市の豊かさ」、「自然の豊かさ」として整理し、「みんなで創る」とはどういうことかについてもあわせて記載）
- (2) 「都市像の核となる視点」を削除
（「都市像」の部分に新たに追加した「都市像に掲げる“豊かさ”」として再編）

6 基本目標（資料 1 P11-P12）

- (1) 基本目標「市民と行政が拓く 協働と連携のまち」の位置づけを変更
（他の5つの基本目標すべての実現においても共通するものとして位置づけを見直し）
- (2) 文章表現を見直し（1つの文章を短くし、接続詞を削除）

7 戦略テーマ（記載なし）

- (1) 「戦略テーマ」を削除
（「都市像」の部分に新たに追加した「都市像に掲げる“豊かさ”」として再編）